

## 【展示物名】みやざき歴史ミュージアム

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

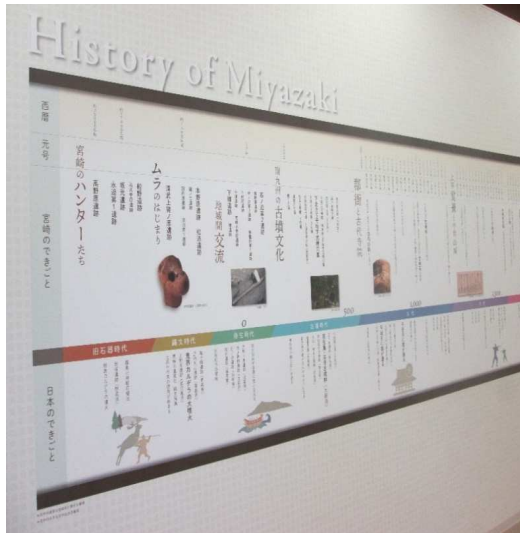
## 【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ この展示室は、宮崎市の変遷を大型の年表と7つの時代（旧石器・縄文・弥生・古代・中世・近世・近現代）で説明している。大型年表は、宮崎市と日本の主な出来事が対比できるようにしている。旧石器から近世までの6つの各ブースには出土品やパネル、イラスト、模型等でその時代の宮崎の様子を説明している。各ブースの時代の遺跡から分かることが示されており、中世では「上井覚兼日記」、近世では佐土原城下の発掘調査を中心に紹介している。

☆ 小学校6年「我が国の歴史上の主な事象」では、日本の歴史上の主な事象と宮崎の遺跡発掘調査から明らかになったことを関連付けて学習することができる。特に、旧石器時代から現在の宮崎市にヒトが暮らしていたことについては興味深く学習することができる。

中学校の学習では、「上井覚兼日記」をもとに戦国時代の山城の事や宮崎市にあった宮崎城での武士の日常生活、江戸時代の佐土原城下の様子など、身近な歴史として学習することができる。

## 【写真】



【大型の年表】



【中世ブース】

## 【学習指導要領】

&lt;小学校6年&gt;

- (2) 我が国の歴史上の主な事象 ア  
 (ア)～(ク)  
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

&lt;中学校1・2年&gt;

A 歴史との対話

- (1) 私たちと歴史 ア  
 (ア) 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解すること。  
 (イ) 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。
- (2) 身近な地域の歴史 ア  
 (ア) 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。